

三崎地区

三崎地区学校運営合同協議会事務局
令和3年8月27日発行 第3号

みさき小 Tel 88-2019
三崎中 Tel 88-2423

コミュニティ・スクールだより 第3号

～ ふるさと未来を支える三崎っ子 ～

令和3年度は 地域を学ぶ「カリキュラム」を検討します

三崎地区コミュニティ・スクールが始まって2年目を迎えます。令和3年7月2日に第1回の、そして、8月19日には第2回の三崎地区学校運営合同協議会を開きました。第1回では今年度の委員の顔合わせをし、協議会の活動方針等が検討され、それを受けて、みさき小・三崎中の学校運営方針が承認されました。

今年度は、活動方針の一つとして「カリキュラム作成」を提案しました。学校のことは学校だけで決めるのではなく、保護者や地域の意見を尊重して決めていこうというのがコミュニティ・スクールの根幹です。第2回目には、小中それぞれに「ふるさと学習」に繋がる各教科・総合的な学習の時間の一覧表を提示し、地域学習計画を見ていただきました。参加者からは、「全学年を通すと、たくさんあるな」「農業関係は、〇〇さんをお願いすればどうか」「塩づくりは、昔の写真がある」「塩づくりや珪藻土などは、語り継いでまとめていけばどうか」「よりよい活動になるようにアドバイスしたい」「学校職員だけではわからない情報が得られた」という意見が出ました。2学期以降、計画を実施し、修正しながら完成させいきます。今後は、地域学習の様子を、小中の学校便りを通してお知らせしていきますので、ご支援を願います。



活発な意見交換を行う、協議会委員の皆さん

コミュニティ・スクールとは？

「学校運営協議会」が設置された学校の呼称で、学校運営の改善や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが学校運営に参画できる仕組みのことです。児童生徒の教育に対する課題や目標を共有し、役割分担することで、取組が充実するとともに、関わる全ての人に様々な魅力が広がっていきます。三崎の町の皆さんと一体となって「地域とともにある学校づくり」を目指します。

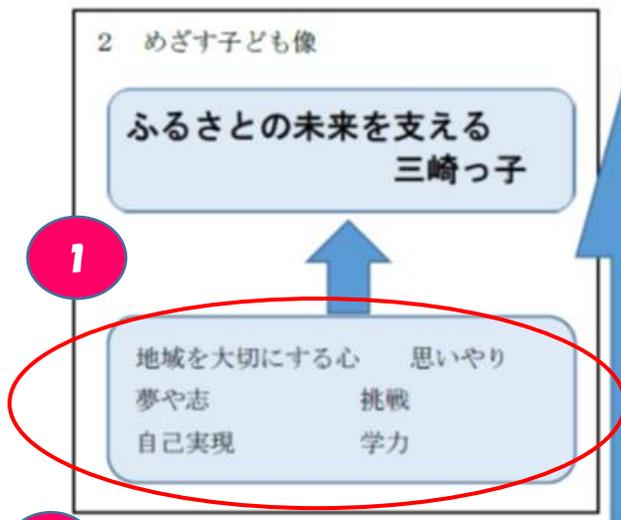


令和3年度 三崎地区学校運営合同協議会委員のみなさんをご紹介します

※ 敬称略

三崎地区学校運営合同協議会		会長	濱野 和喜雄 (区長会長)		副会長	大宮 宏志 (公民館長)	
統括コーディネーター		大宮 宏志 (公民館長)					
みさき 小学校 運営協議会	会長	大宮 宏志 (公民館長)		副会長	柚 喬之 (PTA会長)		
	委員	大宮 宏志 (学校評議員) 濱野 和喜雄 (学校評議員) 中村 優子 (学校評議員) 前田 茂男 (青年福祉委員長) 矢鋪 礼子 (みさき保育所長) 四十住 基子 (三崎中 校長) 柚 喬之 (PTA会長) 竹森 奈津実 (PTA母親代表) 橋元 裕子 (校長)					
三崎中学校 運営協議会	会長	濱野 和喜雄 (区長会長)		副会長	竹上 稔 (育友会長)		
	委員	大宮 宏志 (学校評議員) 岡田 康 (学校評議員) 川上 直美 (学校評議員) 濱野 和喜雄 (区長会長) 前田 茂男 (青年福祉委員長) 橋元 裕子 (みさき小校長) 矢鋪 礼子 (みさき保育所長) 竹上 稔 (育友会長) 青坂 まゆみ (育友会副会長) 四十住 基子 (校長)					

「めざす子ども像」について



三崎地区学校運営合同協議会には「めざす子ども像」があります。「ふるさとの未来を支える三崎っ子」です。左の図のように、その下に、「地域を大切に作る心」「思いやり」「夢や志」「挑戦」「自己実現」「学力」の6つの言葉があります。(図①の赤丸の部分) これらは、2年前の「三崎の子ども達には、どんな心や力をもった大人になってほしいか」というテーマの熟議で集約された意見です。それを受けて、子ども像を作っています。今年度第1回協議会の「一文にして、分かりやすくすればどうか」というご意見を受けて、第2回協議会で図②のように一文にして再提案したところ、さらに『カリキュラムづくり』や『評価』と対応する形式で表せばどうか」という、図③のようなご意見をいただきました。今後、再検討していきます。

2

(案) 自分の夢や志をもち、学びや様々なことに挑戦するとともに、地域を愛し思いやりの心を育みながら、自己実現に向かう子ども

3

- ・要素でわけて番号をふる
- ・一つ一つの地域学習がどれに対応するか、カリキュラム表に記入する
- ・番号ごとに達成したか、評価する

委員の皆さんから

- 学校が一所懸命に取り組んでくれているのがわかった。協力したい。
- 学力がつくよう、最後まで先生が付き合ってくれているのがわかった。
- 小学校の先生方が、下校時まで、個別学習している姿に感謝する。
- 挨拶など、小学校の課題は保育所も同じ部分があるので、保育所から力を入れていきたい。
- 中学校の課題とも共通する部分が多い。
- 小学生が挨拶できないというが、昔と比べれば小学生もしている。中学生はりりしく挨拶してくれる。
- 地域の者として、小中学生に積極的に挨拶をしていこうと思う。
- 大人たちは子どものことを考えているが、子ども達はどう考えるか知りたい。
- 小中のアンケートの形式や項目が違うので、少しずつすり合わせていけばどうか。



令和3年度 三崎地区学校運営合同協議会計画 (予定)

	日時	場所	内容
3回	9月・10月	公民館	○ザ・熟議「三崎の子ども達の教育について考える会」(Vol. 5) ※講師を迎えて
4回	10月12日(火)	みさき小	○授業参観・給食試食会
	11月4日(木)	みさき小	○学習発表会
	11月7日(日)	三崎中	○文化祭「海鳴祭」
5回	2月15日(火)	みさき小	○小中別協議会 ○全体協議会

